

外国為替

株式市場

外国為替フォーラム

仮想通貨

北朝鮮

トランプ政権

オピニオン



**株** はじめての方に  
手数料体

1 約定ごとプラン(税込)

現物取引 **95円~** 信用取引 **96円~** 制度  
買方

**GMOクリック証券**

トップニュース

2018年4月5日 / 00:34 / 1時間前更新

## 中国報復関税：識者はこうみる



【ニューヨーク 4日 ロイター】 - 中国財政省は4日、大豆、自動車、化学製品、一部航空機、トウモロコシ製品など農産物を含む米製品106品目に対し、25%の追加関税を課すと発表した。

商務省が発表した声明によると、対象品目の2017年の輸入規模は500億ドルに相当する。これは米通商代表部（USTR）が3日明らかにした対中関税の対象輸入品目と同じ規模だ。発動日は米国の動向次第となっている。

市場関係者のコメントは以下のとおり。

●市場は究極のシナリオ織り込んでいない

<コモンウェルス・ファイナンシャル・ネットワークの最高投資責任者ブラッド・マクミラン氏>

市場は状況がさらに悪化した場合の究極のシナリオを織り込んでいないと考える。現時点で市場は冷静な反応を示しているが、貿易戦争という事態に陥れば、著しいダメージが広がる可能性はある。ただ依然として、貿易戦争勃発の確率はさほど高くない。

バリュエーションはなお信認によって支えられており、成長や経済見通しへの信認を差し引けば、バリュエーションは縮小する。株価が今後さらに10%下落することに疑いはなく、それ以上悪化する可能性もある。

中国は明確に、対米報復関税措置によってトランプ大統領が牙城とする地域に向けた矢を放った。そのため状況が悪化すれば、共和党の支持基盤とされる州が打撃を受けることになり、（中間選挙に）大きな影響を及ぼす可能性がある。

●本気度強く示す、明確な状況把握必要

<50パーク・インベストメンツの最高経営責任者（CEO）、アダム・サーハン氏>

市場は慎重になりすぎるくらい慎重な姿勢を示している。不透明感が明らかに高まった。中国が米国以上に強力な報復措置をとれば、中国側の本気度を非常に強く示

すシグナルとなる。

本日の動きからは明らかに真剣さがうかがえる。

仮に主要3指数が2月につけた安値を割って取引を終えれば、様相が大きく一変するだろう。中期的に方向感の無いトレンドから弱気トレンドにシフトしたと認識できるだろう。

市場は非常にニュースに左右され、前向きな見出しやツイート投稿で動きが大きく変わる可能性もある。市場関係者らは現時点で明確に状況を把握したいと強く望んでいる。明確な状況把握が可能になるまで、市場は方向感が無かったり、下振れたりする展開を予想している。

（仮に米国が中国に反応したり、さらに多くの国がトランプ大統領発言にひきずられたりすれば）非常に急速な形で制御不能状態に陥り、世界的な景気後退を引き起こす恐れがある。当面は守りの姿勢が正当化される。

#### ●関税影響受けない企業多数、決算注視必要

<クレセット・ウェルスの最高投資責任者（CIO）、ジャック・アブリン氏>

関税の影響を受けない企業も恐らく、多数みられるだろうし、決算は非常に良好な内容になるとみられる。

アナリストらは、（企業決算）シーズンにかけ収益見通しを実際に引き上げており、過去数年間とある種反対の状況にある。

究極的に重要な各企業の決算を注視する必要がある。向こう数週間にわたって、企業決算が明るい内容を示し、だれもが注目できるようになることを期待している。

#### ●威嚇射撃に過剰反応、市場すでに軟調

<オッペンハイマー・アセットマネジメント（ニューヨーク）の首席投資ストラテジスト、ジョン・ストルツフス氏>

貿易戦争は現時点で起きていない。双方が威嚇射撃している状態だ。強硬策で反応しあっている。現在の市場反応を引き起こすほど、事態は深刻でない。過剰反応と言える。ボラティリティープレーヤーならまさに好機だし、中長期の投資家には安くなった銘柄を選別する計画を立てる機会が広がっている。

市場はすでに幾分軟調になっている。（本日の動きは）3月以降みられる市場の下振れと別に受け止めるべきでない。

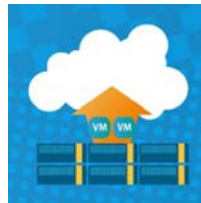
\* 内容を追加して再送します。

私たちの行動規範：[トムソン・ロイター「信頼の原則」](#)

## SPONSORED



従来と違うキャッシング審査  
のカタチ！30秒審査でAIが  
審査！  
PR（アフレンス）



富士通グループのクラウドビ  
ジネスとは？  
PR（BCN）



0円英会話！？1日5分スマホ  
動画を観るだけで英語力に差  
が出る  
PR（イングリッシュライフ）



【緊急速報】土地価格が急上  
昇し、調べる人が続出中！  
PR（まごころ合同会社）

Ads by

貿易戦争の円高ストーリーは短命か、美人投票の教訓＝尾河眞樹氏

内憂外患の日銀、出口を遠くしない緩和手段はあるか＝熊野英生氏

## テクノロジー

2018年4月5日 / 02:24 / 3時間前更新